

2011年海外研修  
ハーバード大学  
マサチューセッツ総合病院

和歌山県立医科大学  
2009年度初期研修医  
樽谷 玲

# はじめに

- 今回、私は和歌山県立医科大学附属病院卒後研修センターのプログラムにて、ボストンに留学中の当院循環器内科の田中篤先生の元に研修させてもらう機会をいただきました。
- 今回、私が経験したことをスライドにて示させていただきます。

# Boston

ボストンは、アメリカの東海岸に位置するマサチューセッツ州の州都で、アメリカで最も歴史の古い街の一つです。アメリカの最初の大学であるハーバード大学、マサチューセッツ工科大学やボストン大学など世界的に有名な大学が集まっており、世界中から優秀な研究者や学生が集まってきています。余談ですが、野球選手の松坂大輔選手の所属するレッドソックスの本拠地でもあります。

# マサチューセッツ総合病院

マサチューセッツ総合病院(MGH)は、ハーバード大学医学部の関連病院の中でも中心的な病院であり、全米トップ3の病院の一角を担っている世界的に有名な病院で、世界中から患者さんが集まってきます。また、New England journal of Medicine (NEJM)という世界5大医学雑誌の1つを発刊していることでも有名です。



# 研修した施設

1. Wellman Center for Photomedicine
2. マサチューセッツ総合病院救急部
3. Brigham&Women's hospital

の3施設で見学・研修させていただきました。

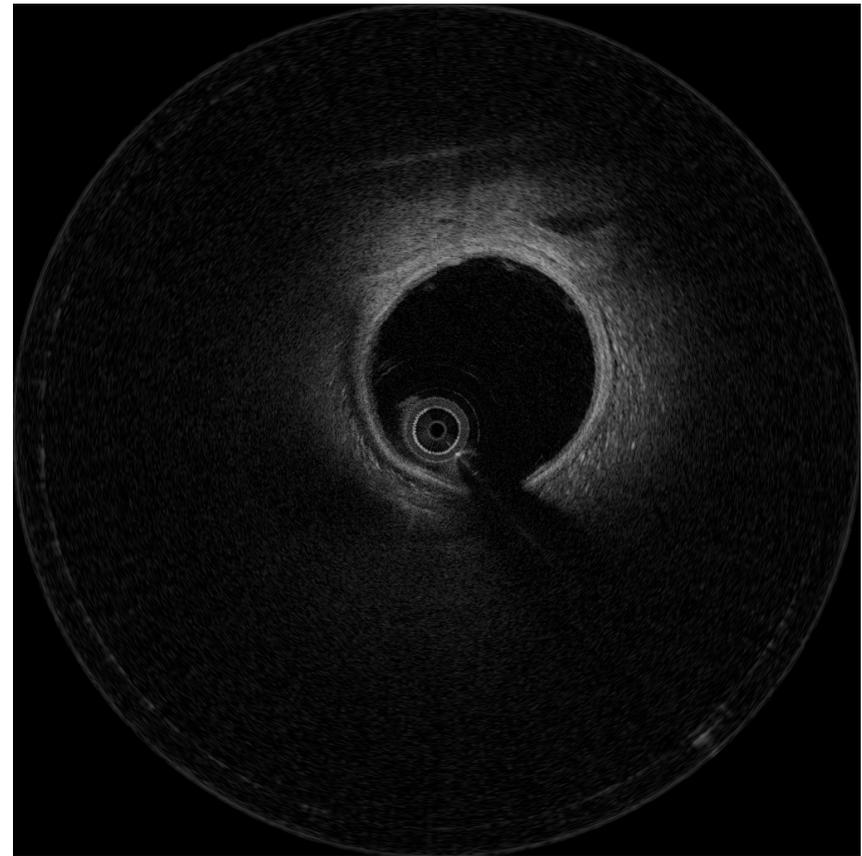
# 1. Wellman Center for Photomedicine

- Wellman Center(以後、WC)とは、マサチューセッツ総合病院内で眼科や循環器領域で、光干渉断層映像(OCT)の機材の研究・開発をしている研究所です。



# 1. Wellman Center for Photomedicine

- WCでは、私は画像処理の手伝いをしてました。詳しい内容は研究であるため、書けませんが右の画像をうん百枚も処理しました。
- 世界最先端の研究に触れる貴重な経験をしました。



## 2. マサチューセッツ総合病院 救急部

- その中の救急部の見学もさせていただきました。私の知っている救急部とはまた毛色の違うシステムで、来院すると重症度でどんどん振り分けられる形で、病床自体も待機ベットが50床もありました。
- また、医師とコメディカルの連携もスムーズで、合理的なシステムで見習うべきことが多くありました。

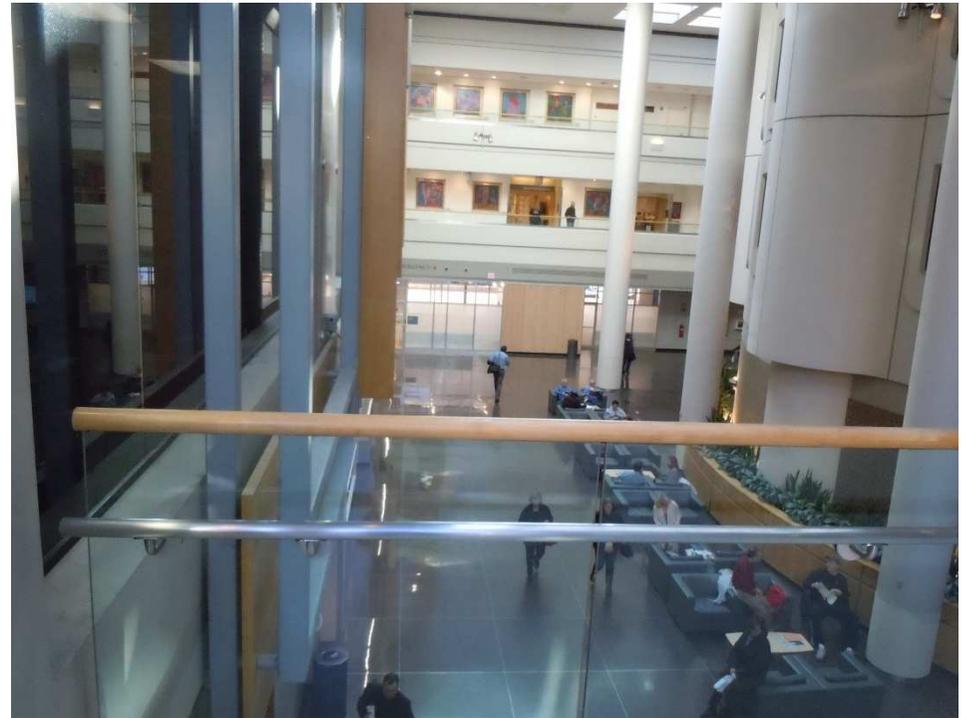
## 2. マサチューセッツ総合病院 救急部



- 内部はプライバシーの関係で撮影できませんでしたが、設備自体は大きな差はなさそうです。
- 総じて、アメリカと日本の医療の違いはシステムの違いという印象を受けました。

# 3.Brigham&Women's hospital

- 3つ目の見学先は、Brigham&Women's hospital(以後、BWH)です。この施設は多数の有名な病院が集まっている地域にある病院で、近くに糖尿病で有名なJoslinやChildren's hospitalなどがあります。



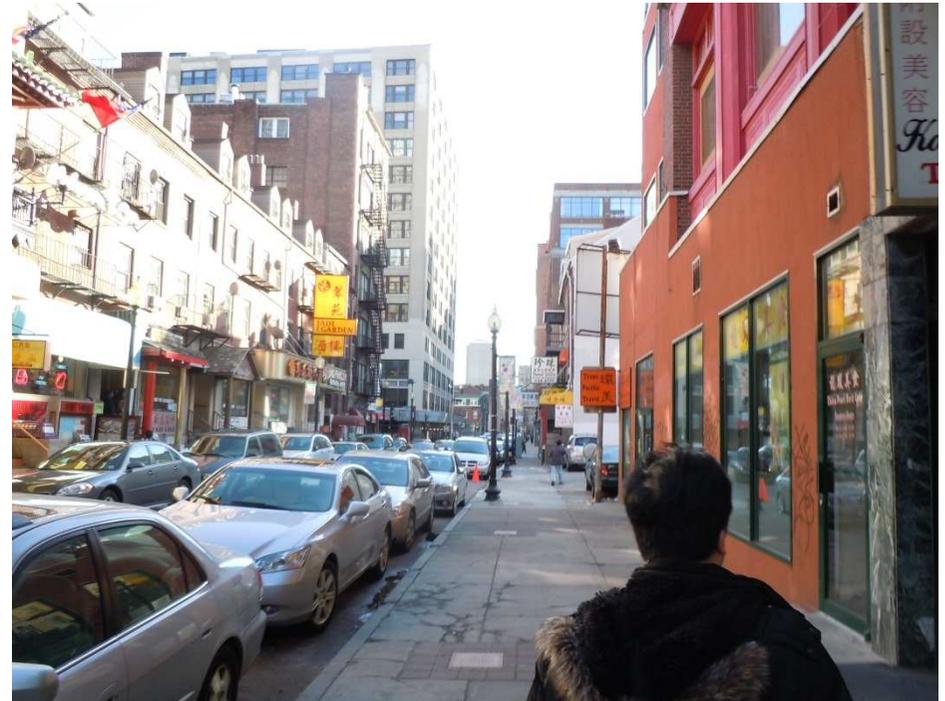
### 3. Brigham&Women's hospital

- BWHの研究室でも、研究の手伝いを少々お手伝いしました。
- こちらの施設はより基礎的な研究をされており、PCR等の分子医学的なことをしてました。



## 4. 自由時間

- もちろん、研究・臨床以外に自由な時間があるいろいろなところに行ってきました。
- 右の写真は中華街



## 4. 自由時間

- 右は初めて、外科手術された通称・エーテルドームと言われている施設です。現在も講義や講演に使われています。



## 4. 自由時間

- 約10日間、充実した時間を過ごさせていただきました。
- このような機会を用意していただきました田中先生・卒後研修センターの上野先生にこの場を借りてお礼申し上げます。



# 最後に

今回、海外の、しかも世界トップの臨床・研究に触れることができ、同世代のレジデント達が切磋琢磨している姿は印象的で、負けてられないなと思いました。

このような海外研修は他の研修施設では見られないと思いますし、大変貴重な経験になりました。もし、この海外での医療に興味を持たれていたり、将来留学を考えている学生の方おられましたら、この海外研修はその第一歩に最適だ、と思います。

多くの学生・研修医の皆さんが今後もこの研修を希望され、さまざまな施設に研修されることを願っています。